

令和1・2年度 土木学会複合構造委員会 第2回幹事会議事録

日 時：令和元年7月26日（金）14:00～17:00

場 所：土木学会 D 会議室

出席者：下村委員長，松本(高)副委員長，大久保幹事長，大山幹事，川端幹事，北根幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，牧幹事，溝江幹事，皆田幹事，工藤事務局

(敬称略，計12名)

配付資料：

- 幹2-0 令和1・2年度複合構造委員会第2回幹事会議事次第
- 幹2-1 令和1・2年度複合構造委員会第1回幹事会議事録（案）
- 幹2-2 令和1・2年度複合構造委員会第1回委員会議事録（案）
- 幹2-3 令和1・2年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹2-4-1 令和元年度委員会予算執行状況
- 幹2-4-2 令和元年度委員会予算（案）
- 幹2-4-3 調査研究拡充支援金の部門内での配分について
- 幹2-4-4 複合構造_調査研究拡充支援金の配分について
- 幹2-4-5 複合構造行事収支一覧
- 幹2-5-1 論文賞選考委員会への委員の推薦について
- 幹2-5-2 論文賞選考委員会規則
- 幹2-5-3 論文賞選考委員会委員経験者一覧
- 幹2-6-1 JSCE2020策定作業の経過報告
- 幹2-6-2 JSCE2020策定の経緯
- 幹2-6-3 JSCE2020中間重点目標（案）
- 幹2-6-4 JSCE2020ヒアリングまとめ
- 幹2-7 令和元年度年次学術講演会（共通セッション）
- 幹2-8 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 幹2-9 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 幹2-10 複合構造の継続教育
- 幹2-11-1 出版関連報告
- 幹2-11-2 出版企画書の記入例
- 幹2-11-3 出版企画提出後のフロー
- 幹2-12 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹2-13 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹2-14 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 幹2-15 H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会
- 幹2-16 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
- 幹2-17 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹2-18 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹2-19 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- 幹2-20 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹2-21 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会
- 幹2-22 次回幹事会の会場

幹2-23 令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦について

幹2-24 令和元年度東レ科学技術賞の推薦について

幹2-25 2019年度研究助成事業に関する助成候補者推薦依頼

議事内容：

1. 委員長挨拶

開会に先立ち、下村委員長より挨拶があった。

2. 複合構造委員会第1回幹事会議事録案確認 (資料 幹2-1)

大久保幹事長より資料に基づき説明があり、下記の修正がなされ議事録案が了承された。

- ・「18 副委員長のあいさつ」を追加
- ・誤字修正

複合構造委員会のウェブページにおける委員名簿（日本語・英語）が更新されているので各自確認するように。

3. 複合構造委員会第1回委員会議事録案確認 (資料 幹2-2)

齋藤(隆)幹事より資料に基づき説明があり、下記の修正がなされ議事録案が確認された。

- ・資料委1-27の資料名「107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会」が、委1-18と同じなので委1-27を報告書のタイトルに修正する。
- ・誤字修正
- ・「Young Engineering Colloquium」→「Young Engineers Colloquium」に修正
- ・(17)小委員会報告 (H101) 複合構造標準示方書小委員会の報告の部分で「2020版」を「2020年版」に修正

修正後の議事録は、齋藤(隆)幹事より親委員会にメール発信する。

4. 令和1・2年度複合構造委員会幹事会業務分担 (資料 幹2-3)

大久保幹事長より資料に基づき説明があった。「示方書調整委員会」は、「示方書連絡会議」の間違いであり、修正する。

5. 令和元年度委員会予算案と予算執行状況 (資料 幹2-4-1～2-4-5)

大久保幹事長より資料に基づき説明があった。予算が決定し、調査研究費 766,000 円、調査研究拡充支援金 523,000 円、合計 1,289,000 円となった。

予算案について、下記の意見があった。

- ・今年度、「選挙管理小委員会」は行われないので、予算はゼロでよい。
- ・全国大会において、研究討論会を実施しないため、現状で見えている予備費の支出先がない。そのため、予備費を各研究小委員会に割り振ってはどうかとの意見があった。この意見に対し、予算2万円の小委員会を3万円とすることとなった。

上記の修正が幹事会にて承認された。この後、親委員会でメール審議とする。

予算執行状況について、下記の意見があった。

- ・J-stage 掲載費が、H101 に計上されているが、H005 の間違い。
- ・小委員会において予算の使い道に関する申し合わせはあるのか。

→基本的には会議室として土木学会が使えなかった場合の会議室代となる。予算を使い切らなくてもよい。

6. 論文賞選考委員会への委員派遣について (資料 幹 2-5-1~2-5-3)

大久保幹事長より資料に基づき説明があった。

7月1日までに土木学会へ回答が必要だったため、委員長、副委員長、幹事長で相談し、中村幹事に論文賞選考委員会への参加を依頼し、その旨回答した。

7. JSCE2020の策定について (資料 幹 2-6-1~2-6-4)

大久保幹事長より資料に基づき説明があった。

JSCE2015の時は、目標を立てて、各委員会がそれに向けて活動せよという流れがあったが、今回のJSCE2020は学会が目標を立てて学会として活動する。そのため、各委員会が行っていた自己評価が無くなる。

8. 基礎からわかる複合構造の英訳版の発信方法について (資料なし)

大久保幹事長より資料2-2第1回委員会議事録案に基づき説明があった。

IABSEとfibに紹介文を掲載いただいたことで、100件を超える英文ダウンロードがあった。

土木学会でも案内すべきとの意見があり、国際センターニュース、Facebookなどへの掲載について下村委員長から上田先生に依頼することとなった。

また、以前より、IABSEと複合構造委員会がコラボしてコロキウムを行いたいとの意見がある。これについては、国際連携小委員会で、複合構造委員会として何ができるのかを継続して検討することとなった。例えば、11月7-8日に東工大で開催されるコロキウムでは、コンペが行われる予定であり、同様のことを行えないかなどを検討する。

9. 令和元年度全国大会・年次学術講演会 (資料 幹 2-7)

大山幹事より、資料に基づき説明があった。

発表件数は23件であり、座長については、石川先生、溝江幹事、平幹事に依頼している。

10. 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム報告 (資料 幹 2-8)

仁平幹事より資料に基づき説明があった。

今回のシンポジウムは11月14日と15日に実施。72件の応募があった。

特別講演は、依頼状、謝金不要とのことである。建築の稲田先生は返信待ちの状況である。

意見交換会は、会費：1,000円（特別講演者は招待）で実施する。

現場見学は、11月15日（金）PM（14:00~16:00）、東京湾臨港道路南北線（沈埋函の敷設）である。

バス代は、参加者から1,000円／人を徴収し、不足分は委員会予算の予備費で補填する。

11. 土木学会論文集A1特集号：複合構造 (資料 幹 2-9)

大久保幹事長より資料に基づき説明があった。

8月5日に第1回幹事会、9月18日に第1回編集委員会を実施する予定である。

橋本幹事が小委員会、幹事会とも今年度出席できないため、幹事会で議論が必要な場合は、石川先生に幹事会に出席いただくこととする。

鉄道総研谷村委員が異動になり活動が難しくなったため、JR東日本木野さんに後任をお願いしている。

委員交代について、幹事会で承認された。西崎委員長が承認しているかを確認の上、親委員会でメール審議とする。

12. 継続教育関連報告 (資料 2-10)

溝江幹事より資料に基づき説明があった。

(1) 複合構造セミナー準備状況について

今後、タイトルを「(第3回 若手技術者のための) 複合構造セミナー (～鋼とコンクリート)」
としたい。サブタイトルは講師によっては変更できるものとする。

懇親会は、土木学会外で実施としても良いが、若手技術者を対象にしているということから参加費があまり高くならないように配慮することとする。

開閉会のあいさつは、下村委員長、松本副委員長にお願いする。

(2) e-ラーニングについて

「基礎からわかる複合構造」を題材としたコンテンツを作成予定で、2012年に開催した「基礎からわかる複合構造 - 理論と設計 -」講習会で使用したPower Pointをベースに、合成・混合構造の施工事例を紹介するPower Pointを新たに作成する。

現在、本書籍を教科書にしている大阪工業大学の学部講義を通して上記Power Pointに不足している箇所を抽出中であり、この抽出結果をもとに、今後、WGメンバーで追加作成内容と分担を議論する。

13. 出版関連報告 (資料 幹 2-11-1～2-11-3)

平幹事より資料に基づき説明があった。

複合構造シリーズ 09 FRP 接着による構造物の補修・補強指針 (案) の在庫がほぼなくなったことから、出版委員会事務局から H106 小委員会の委員長・幹事に増刷の問い合わせがあり、H106 小委員会からは増刷との回答をし、現在、出版委員会の決済待ちの状況である。

また、複合構造標準示方書-設計編の土木学会の在庫がなくなったことに関して、出版委員会事務局から H101 委員長・幹事長に増刷の問い合わせがあり、H101 小委員会としては増刷不要と判断し、幹事会においてもこれが確認された。ただし、在庫が完全になくなって何も提供できないという状況はよくないので、本体価格より高くないならオンデマンド印刷が良いのではという意見があった。そのため、オンデマンド印刷の費用を出版に確認する。また、3 編セットの在庫があることからこれをばら売りできないかも確認する。

大久保幹事長から来年度の出版企画について説明があった。来年度終了予定の委員会は下記であり、出版企画について連絡幹事から各小委員会に連絡する。

対象小委員会

- ・ H101：複合構造標準示方書小委員会
- ・ H216：複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- ・ H217：コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- ・ H218：FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

14. 小委員会報告審議

- ・ H101 複合構造標準示方書小委員会 (資料なし)

特になし

- ・ H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会 (資料なし)

特になし

- ・ H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会 (資料なし)

平幹事より、2 か月ごとに委員会を開催しており、第 3 回小委員会を 9 月 25 日に実施予定との説明があった。

- ・H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会（資料 幹2-16）
溝江幹事より資料に基づき説明があった。報告書完成後の通読を当初予定より1か月遅れの8月上旬に幹事に依頼する予定である。通読は、牧幹事、皆田幹事、平幹事が担当する（資料 幹2-3）。また、講習会を2020年1月頃に実施予定である。
- ・H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（資料 幹2-17）
下村委員長より、第2期を日程調整中であるとの説明があった。また、2期目の活動は、令和元年8月から2年とすることが確認された。
- ・H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹2-18）
仁平幹事より、資料に基づき説明があった。前回委員会での報告からは特に進捗はなし。
- ・H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会（資料なし）
平幹事より、WGごとに活動中との説明があった。
また、委員について、下記の変更があることが説明された。
 - ・役職変更 大垣幹事（ものづくり大学）⇒副委員長
- ・H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会（資料なし）
特になし。
- ・H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会（資料 幹2-21）
大久保幹事長より資料に基づき説明があった。第6回委員会が7月23日に開催された。
また、委員について、下記の変更があることが説明された。
 - ・役職変更 高井委員（IHI インフラシステム）⇒幹事
 - ・委員交代 石塚委員（飛島建設）⇒中山委員（飛島建設）

15. その他

大久保幹事長より、下記について複合構造委員会委員にメールで案内済みであることが説明された。

- ・令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦（資料 幹2-23）
- ・令和元年度東レ科学技術賞の推薦（資料 幹2-24）
- ・2019年度研究助成事業に関する助成候補者推薦依頼（鹿島学術振興財団）（資料 幹2-25）

16. 次回幹事会（資料 幹2-22）

大久保幹事長より、次回の幹事会は土木学会全国大会の2日目午後に、鹿島建設四国支店会議室にて開催することが説明された。

17. 閉会のあいさつ

松本副委員長より、閉会の挨拶があった。

以上
(記録：平)